

文部科学大臣賞

ゆうぜんほうもんぎ「なみにさかな」

友禅訪問着「波に魚」 大村 幸太郎

作品の発端は、線の羅列や交差のみで何か風景がでないかということでした。それを繰り返すうちに、この構図が出来上がりました。



日本工芸会会長賞

こめおりきもの「がーでん」

穀織着物「Garden」 海老ヶ瀬 順子

春になり庭の草木は湧き出るが如く次々と芽を出し若い葉は輝いて見えます。庭仕事をしている時、ふとこの若草色の生かせる着物をとを考えました。

日本工芸会新人賞

たんおうどうこうす

鍛黄銅合子

「つきよのほまべ

「月夜の浜辺

さめがれい」

サメガレイ」

植田 千香子

まんまるのお月さまが登る夜、水面の下の砂の中に身を潜めるカレイを、鍛金と煮色で表現しました。



日本工芸会奨励賞

きりかぬがざりぼこ

截金飾篭

「こうさいまんげ」

「光彩万華」

藤野 聖子

春の日の光と風が繰り広げる優しく煌めく幻想的な空間を表現しました。



第70回

# 日本伝統工芸展

京都展

10月11日(水)→15日(日) 京都市京セラ美術館

ご入場時間＝午前10時～午後5時30分(午後6時閉場) ※最終日10月15日(日)は午後3時30分まで(午後4時閉場)

入場料(税込)＝一般500円(当日券のみ)／大学生以下無料

主催＝京都府教育委員会、京都市、NHK京都放送局、朝日新聞社、日本工芸会 後援＝京都府、京都市教育委員会 協賛＝パナソニック ホールディングス

※「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。 ※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。

列品解説・自作を語る

- 10月11日(水) 午後2時〈陶芸〉石橋 裕史
- 10月12日(木) 午後2時〈漆芸〉浅井 康宏
- 10月13日(金) 午後2時〈木竹工〉村山 明 重要無形文化財保持者
- 10月14日(土) 午後1時〈染織〉村上 良子 重要無形文化財保持者(受賞者:大村 幸太郎、海老ヶ瀬 順子)
- 午後2時〈人形〉青江 桂子
- 10月15日(日) 午後1時〈諸工芸〉渡邊 明(受賞者:藤野 聖子)
- 午後2時〈金工〉高橋 阿子(受賞者:植田 千香子)

特別展示 わざを伝える

- 「白磁」前田 昭博 重要無形文化財保持者
- 「木工芸」須田 賢司 重要無形文化財保持者

